

参院憲法審査会開催される 二院制の存在意義について検討

参議院憲法審査会が4月3日（水）午後1時から午後3時30分まで開催されました。審査会では、二院制の存在意義について、参考人（加藤一彦東京経済大学現代法学部教授、加藤秀治郎東洋大学法学部教授）の意見陳述と参考人に対する自由質疑が行なわれました。



自由質疑は、議員一人たった8分！

はじめに、二人の参考人が15分ずつ意見を述べました。加藤一彦氏は「経済的国力と人口規模に着目した場合、一院制を採用しているのは中国のみ」等と各国の状況と、衆参両院制の意義を説明し、「逆転（ねじれ）国会は表層の問題であって、両院制の本質的問題ではない。憲法の予想の範囲内」と述べました。また、加藤秀治郎氏は「衆参ねじれで国政がマヒしている、参議院は弱い第二院ではなく、何らかの改革が必要だ」と述べました。

その後、希望する議員の質疑応答合わせて8分間の自由質疑が行われました。一人8分のため、十分なやりとりができない状況。たとえば、日本共産党の井上哲士議員が「一院制では内閣に対する国会のチェック機能が果たせなくなる」「多様な民意を保障する制度としても二院制は大事」と主張し、「全国民を代表する選挙制度」についての質問に対し、それに加藤一彦氏は「全国民の代表者ということを前提に考えれば、比例代表かな」と答え、加藤秀治郎氏からも回答がありました。井上議員は「見解が違うが、時間がないので」と終わらざるを得ない状況でした。

「憲法学者で首相公選制を支持する人はいない」と参考人

面白かったのは、開会から自分の質問までずっと居眠りしていた維新の会の水戸将史氏が、維新の会の政策である首相公選制について見解を聞いたことに対して二人が回答する場面でした。加藤一彦氏は「選挙で直接選ばれた首相が議会解散権など強力な権限を持つ。これはポピュリズムからファシズムに移行する」「憲法学者で支持する人はいない」と述べるなど、二人とも首相公選制を明確に批判しました。維新の会の政策が真正面から否定されました。

（傍聴：高橋）

翌日4日に、開催された衆議院憲法審査会（第4回目）については、次号で紹介します。

再び、
訴えます!!

**“女性は戦争への道を許さず、
 憲法9条を守ります”**

女性アピール全国紙5・3意見広告運動にご協力を！

憲法改悪が狙われる中、雨宮処凛（作家・活動家）、UA（歌手）、澤地久枝（作家）、竹信三恵子（ジャーナリスト・和光大学教授）、田中優子（法政大学教授）、湯川れい子（音楽評論・作詞）の6氏の呼

びかけで「憲法改悪反対、憲法9条を守る女性の声をひろげていこう」と、「憲法9条を守る女性アピール」を発表しました。このアピールへの賛同運動と、新聞意見広告掲載のための賛同募金運動をとりくんでいます。

運動の趣旨をひろげ、意見広告への賛同募金にとりくんでいただくようお願いいたします。

1. 賛同金 個人1口 1000円、 団体1口 5000円
2. 締め切り 4月20日（なお、掲載後も受け付けます）
3. 申し込み方法 意見広告専用郵便振替口座に振り込んでください。
 - ◆口座番号 00140-5-512930
 - ◆加入者名 9条を守る女性アピールの会
4. 問い合わせ 事務局：日本婦人団体連合会
 - ◎全労連女性部に直接お問い合わせいただくことも可



<日刊ゲンダイ（4月1日）掲載の記事を紹介します。>

安倍首相 本当に無知だった！

よくまあ、この程度の知識で「改憲」を掲げられたものだ。大新聞テレビは、ほとんど報じていないが、安倍首相の国会答弁があまりにもひどいとネット上で話題になっている。

3月29日の参院予算委員会。民主党の小西洋之議員(41)から憲法論議を挑まれた安倍首相は、一言も答えられず醜態をさらしたのだ。小西議員は、まず憲法13条について質問。13条は〈個人の尊重〉を記した憲法の柱だ。ところが、首相は13条について知らなかったらしい。素直に「知りません」と答えればいいものを、悔し紛れに「クイズのような質問は生産的じゃない」「子供っぽいことは、やめましょうよ」と抗議する始末。

さらに小西議員が「憲法学者の芦部信喜、高橋和之、佐藤幸治をご存じですか」と聞くと、「私は憲法学の権威でもございませんし、学生だったこともございませんので、存じておりません」と開き直ったのだ。しかし、3人は日本を代表する憲法学者である。普通のサラリーマンは知らなくても恥ずかしくないが、総理として「改憲」を訴えながら「大御所」の名前をひとりも知らないとは信じがたい。憲法を勉強していないのか。

さすがにネット上では、「経済学をやりながらケインズを知らないと同じだ」といった声が飛びかっている。憲法学者の金子勝・立正大教授が言う。「憲法を勉強する学生なら3人の名前を知っていて当然です。東大教授だった芦部信喜先生の著書『憲法』（岩波書店）は、大学の憲法学の教科書としても使われています。安倍首相は憲法を勉強していないから、無責任に改憲を掲げられるのでしょう」

自民党の中堅議員が言う。

「安倍首相の母校である成蹊大法学部をバカにするわけではありませんが、正直、安倍首相は、あまり優秀ではない。憲法も経済もほとんど理解していないでしょう。アベノミクスなどともてはやされているが、経済も本当はチンプンカンプンのはずです」

こんな男が「政治は結果だ」と威張りちらしているのだから、日本の政治は末期的だ。

新憲法リーフ

新憲法リーフの内容を憲法改悪反対共同センターのHPにアップしました。

(<http://www.kyodo-center.jp>)

申込書も載っています。ご活用ください。

●1部 2円（送料別）【請求書は後日送付】



「9の日」宣伝用ポケットティッシュ

～注文受付～

在庫がなくなりましたので作成中です。

*値段 1個 5円（1箱 1,000個入り）

*第1次締切 4月11日

*発送日 4月23日



憲法を学び、生かし、平和な日本と世界を！